

ABUKUMAHAKUHO High School News vol.1

①あぶくま柏鵬高等学校 開校式

令和8年4月8日(水)に、あぶくま柏鵬高等学校の開校式が挙行されました。開校式では、福島県知事 内堀雅雄様、福島県議会議長 矢吹貢一様、田村市長 白石高司様、小野町長 村上昭正様から御祝辞をいただきました。船引高等学校と小野高等学校が統合し、新たに総合学科の高校となります。「ワクワクがとまらない学校」にしていきたいと思ひます。専門的かつ新たな学びを展開する本校を、これからよろしくお祈ひします。



②令和8年度 あぶくま柏鵬高等学校入学式

4月9日(木)に、あぶくま柏鵬高等学校として最初の入学式が挙行され、総合学科80名の新入生が期待と希望を胸に高校生活をスタートさせました。校長が、「新しい学校なので前例はありません。『やってみよう』という積極的な姿勢で、様々なことに取り組んでほしい」と式辞を述べました。新入生代表が、「あぶくま柏鵬高等学校の一期生として誇りを持ち、自分の夢や目標を達成できるよう、努力を怠らず全身全霊で取り組むことを誓います。」と誓いの言葉を述べました。



③2年生対象 グループエンカウンターを実施しました

4月13日(月) NPO法人 こおりやま子ども若者ネットワークの小林直輝様、ソーシャルデザインワークスの岡田みずほ様をお招きし、2学年を対象としたグループエンカウンターを実施しました。学級単位で行ったバースデーチェーンやパーセントファイブなど様々な活動を通して、新しい友人たちと目を合わせたり言葉を交わしたりしながら、自分のことを伝えたり相手に関心を持ったりすることができました。1年次と3学年を対象とした交流活動も今後実施し、多様性を尊重する豊かな人間性の育成に努めていく予定です。



④令和8年度あぶくま柏鵬デュアルシステム調印式が行われました

令和8年度デュアル実習調印式が、4月21日(火)ご来賓の皆様にご参加いただいて執り行われました。運営協議会会長である田村市長の白石高司様から、ご挨拶をいただきました。協定書の調印では、実習企業を代表して新田ファーム様、保護者代表、校長が調印を行いました。3学年19名、2学年7名のあぶくま柏鵬デュアル生をよろしくお祈ひします。



地域おこし協力隊奮闘記

田村で挑む、恩返し。

初めまして。2月に地域おこし協力隊(地域振興型/農業事業)に着任しました、星正紀と申します。高校まで郡山市で過ごし、大学では山形県鶴岡市で農学を専攻し、水田生態系の研究に取り組みました。卒業後は都内の社会福祉法人に入職し、現場の介護職から、本部での新規事業企画や経理を担当してきました。30歳を迎える節目に、「地元福島に恩返しをしたい」という思いから、地域おこし協力隊への着任を決めました。



現在は、新規就農者・移住者の獲得に向け、オンラインイベントや農業ツアーを企画しています。現在は、年度初めのごあいさつも兼ねて、関係農家への訪問や農場見



学を進めています。農学の知識と前職で培った福祉・公共事業の経験を生かし、田村市の力になれるよう努めてまいります。日々の暮らしを支える農業への感謝と敬意を形にし、農業を安心して続けられる仕事にしていく一助になりたいと考えております。

▽星正紀 プロフィール
郡山市出身。山形大学農学部卒。都内の社会福祉法人で介護職、企画、経理を経験し、12年ぶりに福島へUターン。2月に地域おこし協力隊に着任。

海を越えて 英語指導助手ペンリレー No. 155



ジェシー・ケイドさん
アメリカ合衆国・テキサス州出身
(田村市に来て7年目)

自然のもつ二面性

田村で私が本当に気に入っているのは、景観の美しさです。自然が豊かなので、都会に住んでいたなら見ることのできない多様な野生動物に出会えます。田村でまだ見たことがない動物、そして野生で絶対に会いたくない動物がいます。それはクマです。皮肉なことに、クマは私の大好きな動物であると同時に、一番怖い動物でもあります。私の趣味はサイクリングとハイキングなので、クマとの遭遇をいつまでも避けることはできないでしょう。

日本で自然の中を探検する際に、私がクマ以上に警戒する生物は、アメリカ人が「殺人スズメバチ」と呼ぶものです。以前、山形県を訪れたとき、殺人スズメバチに追いかけられました。人生で見た中で一番大きなスズメバチでした。じっとしていればよかったのですが、パニックになってしまいました。猿のように腕を振り回しながら、ハイキングコースを狂ったように走りまわりました。それでもスズメバチは追いかけてきました。コースを歩いていた他の日本の

人たちは、速く走り去るアメリカ人を見て、とても困惑した表情を浮かべていました。しばらくすると、スズメバチは興味を失い、私を追いかけるのをやめました。「常に周囲に気を配れ」。これは以前学んだ言葉で、以来ずっと心に留めています。自然は自然です。美しくもあり、危険でもあります。自然の美しさだけを見ていたら、無知で準備不足で、危険に気づかないままになってしまふ危険性があります。自然の危険性ばかりに目を向けていたら、家の外に出るのが怖くなってしまふでしょう。日本の生活を通して、この二つの視点のバランスを保つことの大切さを学びました。これからは福島県内や日本各地でハイキングやサイクリングを楽しみますが、同時にどこにいても周囲に気を配るように心がけます。



みなさんどうぞお気をつけて。いつか大自然の中でお会いできるかもしれませんね!